

科目名: アカウンティング論		科目コード	EJ77
科目主査: 友寄 隆哉		単位	2
担当講師: 小紫 恵美子、土屋 晴行、友寄 隆哉		配当年次	3・4
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カメラ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input checked="" type="checkbox"/> 不要
<p>いかに利益を生み出すか、利益はどのようにすればキャッシュ・フローに変換できるのか、この命題に対して経営者は常に最適な意思決定が要求されます。本科目では、「企業の利益状態の見方」「企業が利益を生み出すしくみ」「企業を成長に導く意思決定」の方法について、企業会計・財務情報を分析するための必須ツールである財務諸表分析とCVP分析を中心に、ケーススタディを活用しながら学習します。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	<p>事前にテキストを熟読し、わからない点があればマーキングして質問ができるようにしてください。事前学習が万全でないと授業内容の理解が乏しくなります。特に、テキスト後半、財務の分野は丁寧に学習してください。</p>		
テキスト	『アカウンティング・エッセンス』石川 勝, 産業能率大学, 2019年		
この科目の到達目標	<p>① 財務諸表から経営成績、財政状態、資金の状況を指摘することができる。 ② 財務比率やCVP分析から企業の問題点や課題を提示できる。</p>		
成績評価の方法	<p>授業態度を重視し、授業時間中の集中度合い、参画度合いを評価対象とします。授業態度について、授業をちゃんと聞き、重要な点はノートにまとめるように取り組んでください。</p>		
事後学習	<p>授業で学んだ内容について、企業財務の立場から要点を整理しまとめること。 現代の企業は、収益力の維持・向上に苦しんでいます。収益力はどのような企業行動によって向上させることができるのか、まとめをすること。</p>		
事後学習の参考文献	<p>『入門企業財務 理論と実務 第4版』津森 信也, 東洋経済新報社, 2011年 『稲盛和夫の実学 経営と会計』稲盛 和夫, 日本経済新聞出版社, 2000年 『会計参謀 会計を戦略に活用する』谷口 学, 中央経済社, 2016年</p>		
スクーリング受講時に用意するもの	<p><input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 電卓</p>		